

## 横浜市立大学附属病院 臨床研修医オリエンテーション実施報告

青木昭子<sup>1, 2)</sup>, 後藤英司<sup>3)</sup>, 西巻 滋<sup>2)</sup>, 和田修幸<sup>2)</sup>,  
榊原英也<sup>2)</sup>, 古川政樹<sup>4)</sup>, 長谷川 修<sup>5, 6)</sup>, 鈴木範行<sup>6)</sup>,  
平和伸仁<sup>6)</sup>, 斎藤真理<sup>6)</sup>

<sup>1)</sup> 横浜市立大学附属病院 臨床研修センター副センター長,

<sup>2)</sup> 臨床研修副プログラム責任者, <sup>3)</sup> 臨床研修センター長・プログラム責任者,

<sup>4)</sup> 横浜市立大学附属市民総合医療センター 臨床研修センター長・臨床研修プログラム責任者,

<sup>5)</sup> 副センター長, <sup>6)</sup> 臨床研修副プログラム責任者

**要 旨:** 平成22年4月に実施した臨床研修医オリエンテーションの概要と附属病院で最終日に実施したアンケート調査の結果を報告する。手洗い、マスク装着などの感染対策、4年次 OSCE の項目である縫合、一次救命処置 (basic life support; BLS) はほぼ全員が卒前に学習したことがあり、病棟でも「十分できると思う」と回答したが、ME 機器の操作や胃管の挿入については、卒前で学習した研修医は少数で、「あまり出来ないと思う」と回答する率が高かった。卒前学習の内容を把握し、適切な off the job training の計画を立てることが重要と考えた。

**Key words:** 臨床研修医, オリエンテーション, 自己評価